



櫻井市長(右から2人目)を表敬訪問した(左から)佐野社長、日高主将ら＝亀山市役所で

【亀山】 今月二十七日に鈴鹿市御園町の三重交通Gスポーツの杜で、JFL(日本フットボールリーグ)に所属するアトレチコ鈴鹿クラブが出場する試合を無料観戦できる「亀山市民デー」に先立ち、同クラブの佐野極社長と日高慶太主将ら三人は十七日、亀山市役所に櫻井義之市長を表敬訪問し、「多くの亀山市民にサッカー観戦を楽しんでほしい」と話した。

同クラブの前身は、鈴鹿インテグレッターズ。昨年一月に現在のクラブとして発足。JリーグJ3昇格を目指し、Jリーグクラブライセンスを申請中。承認され、JFLに所属している十六チームでの試合の結果、一位に

「亀山市民デー」に観戦を

JFL「アトレチコ鈴鹿」が2000人招待

何度でも使える冷感グッズ

菰野町 道の駅で「こもしかひんやりネック」販売



販売が始まった「こもしかひんやりネック」を紹介する柿市さん＝菰野町菰野の道の駅「菰野ふるさと館」で

「三重県」菰野町観光協会は十八日、同町菰野の「道の駅菰野ふるさと館」で、町のPRキャラクター「こもしか」の新アイテムとなる冷感グッズ「こもしかひんやりネック」の販売を開始した。

(岸本礼子)

「三重化学工業」とコラボ 9月に万博会場でも

「こもしかひんやりネック」は、保冷剤と作業用手袋の企画開発・製造の老舗メーカー「三重化学工業」＝松阪市＝の全面協力のもと、道の駅との初コラボ商品として開発。開催中の大阪・関西万博のテーマの一つ「循環」を基にしており、九月の菰野町紹介日に万博会場でも販売を予定している。

こもしかがワンポイントであしらわれた商品は、保冷剤は入っておらず、水さえあれば手軽に何度でも使える。「なつぞらぶる」と「おふほわいと」の二色があり、価格は税込み千三百八十円。

観光協会所属の地域活性化起業者、柿市哲哉さん(三十三)は、「御在所岳をはじめ鈴鹿山脈の登山のお供に、屋外作業、室内でも首を冷やして暑さ対策とエコロジーに役立てていただきたい」と話していた。問い合わせは同ふるさと館＝電話059(394)0116＝へ。

【お知らせ】

◇四日市市で第55回「公募書芸展」 24日(公) 26日午前9時～午後5時(初日は午前10時から、最終日は午後4時まで、市文化会館第1・3・4展示室。問い合わせは県書道芸術家連盟090(9947)2028。

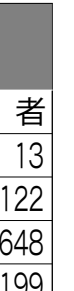
まちかどガイド



◇四日市市で「学芸員講座①人とクララの交遊録」 27日午後2時～同3時半、そらば四日市1階講座室。本市にまつわる鯨船行事を通じて、クララの基礎知識から古式捕鯨に始まる食文化までを紹介。定員50人(当日先着順)。申し込み不要。手話通訳、要約筆記あり。問い合わせは



◇四日市市で「大人の社会科①ハマグリで作る員合わせ」 8月9日午前10時～正午、市立博物館1階講座室。2枚の貝がらに刻まれる絵を描いた後、「員合わせ」で遊ぶ。定員25人(応募多数の場合は抽選。受講料500円。申し込みは



◇桑名市「イオンモール桑名(新西方)」午前10時～同1時半・午後1時～同4時

フレイル防いで健康に 亀山で講座、市民20人参加



【亀山】 亀山市シルバー人材センター(竹井道男理事長)は十八日、同市若山町の市社会福祉センターで、「フレイル予防講座」を開き、市民ら二十人がフレイル予防についての知識を学んだ。

フレイルは、加齢とともに、握力などの筋力の低下や疲れやすくなるなど、心や体の筋肉などが弱くなる状態のこと。

市内の病院に勤務する、河村美寿季理学療法士(三十九)が講師を務め、「日頃から、椅子に座るような感覚でゆっくり膝を曲げる『スクワット』をすることで筋力は強化できる」と述べ、「筋肉は年齢に関係なく若返る」と促した。

七十七歳の女性は「なるだけ歩くことを心がけてはいるが、タンパク質をしっかりと摂取する食事大切なんです」と話していた。

写真と絵画、力作並ぶ



作品を紹介する純一さん(左)＝桑名市大仲新田の川スミメガネ本店で



「お互いに趣味を楽しみたい」と話す協子さん

【桑名】 川越町豊田一色の齊藤純一さんと、協子さんの夫婦の「野鳥写真と絵画の夫婦展」が十八日、桑名市大仲新田の川スミメガネ本店ギャラリーで始まった。二十四日まで。

純一さんが会場で来場者に紹介するのは、約一年半にわたって追い求めてきた野鳥写真の中から選んだ自信作十一点。魚をくわえ羽を広げるタイサギや両足の爪で魚をつかむミサゴなど、一瞬を切り取っている。協子さんはネコや花、人物などを題材に、水彩やパステルなどで描いた力作十四点を並べている。

夫婦展は、協子さんの絵画仲間の手伝いで初めて開いた。再来年の四月に二回目を開く予定で、協子さんは「これからも二人仲良く趣味を楽しみながら、毎日を通していきたい」と話した。

齊藤さん夫婦が 桑名で初作品展

県下の交通事故				
17日の事故	件数	死者	傷者	
人身事故	13	0	13	
月累計	114	0	122	
年累計	1359	22	1648	
前年比	-145	-2	-199	

伊勢新聞社の本

式内社巡り 神に会う場所 奥山隆也

既存学知を超える視点、
その密度と包括性。傑作。

本紙好評連載を書籍化。

山並みが飛ぶ鳥に見える場所に神社や古墳、祭祀遺跡がある仮説を証明した。各神社の名前の意味も解説。
『飛ぶ鳥が見える』『伊勢神宮の始まり』に続く3部作。

著者：奥山 隆也 (おくやま たかや)
1973年 三重県津市に生まれる。
1996年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、伊勢新聞社入社。
現在、同社報道部次長兼松阪紀勢総局長。

ご注文・お問い合わせ

株式会社 伊勢新聞社 〒514-0831 三重県津市本町34-6

TEL (059) 224-0003
FAX (059) 226-3554

定価 5,500円(税込)

ISBN978-4-903816-59-3
A5判横 308ページ 発行 伊勢新聞社

amazon.co.jp でもご購入できます。

序章 伊賀、伊勢国の式内社

第一部 伊賀国

- 第一章 阿拝郡
- 第二章 山田郡
- 第三章 伊賀郡
- 第四章 名張郡

第二部 伊勢国

- 第五章 度会郡
- 第六章 多気郡
- 第七章 飯野郡
- 第八章 飯高郡
- 第九章 一志郡
- 第十章 安濃郡
- 第十一章 庵芸郡
- 第十二章 鈴鹿郡
- 第十三章 河曲郡
- 第十四章 三重郡
- 第十五章 朝明郡
- 第十六章 員弁郡
- 第十七章 桑名郡
- 第十八章 宮川上流
- 第十九章 伊勢湾

第三部 神社名の意味

- 第二十章 「神に会う場所」
- 付録一 式社一覧表
- 付録二 社名分類表

第四部 宗教、形のないものを表現する

- 第二十一章 普遍宗教 還相と復活
- 第二十二章 現代宗教 国家と貨幣
- 第二十三章 渦、永遠回帰